

館長	専門員	主任	担当	舞台担当	受付者

釧路市生涯学習センター 感染防止策チェックリスト

令和 年 月 日

イベント開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、この「感染防止策チェックリスト」をイベント開催の2週間前までに、当館へご提出ください。

なお、「大声での歓声・声援等が想定される(=大声あり)」イベントについては収容定員を収容率50%に制限させていただきます。ただし、同一イベントにおいて、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率の上限は、それぞれ、50%(大声ありエリア)・100%(大声なしエリア)とします。

また、イベント主催者は、この「感染防止策チェックリスト」をホームページ等に公表いただくこととなっております。ホームページやSNSなどへの公表が難しい場合は、ホール入口に掲示するなどしてご対応願います。

なお、ご提出いただいたチェックリストは関係機関からの照会がある場合もございますので、イベント開催後の1年間当館にて保管致します。

感染防止策の不徹底やクラスター発生の可能性がある場合など問題が確認されたイベントにつきましては、別途「催物結果報告フォーム」をご提出いただきますので予めご了承下さい。

【STEP1】 催物の情報	本項目では、チェックリストを記入する前に、催物の情報をご入力ください。	
催物の名称	※チラシ等内容が分かる資料も添付願います。	
開催案内等のURL	http ://	
開催日時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 ※複数回開催の場合→別途、開催する日時の一覧をご提出ください。	
利用施設	<input type="checkbox"/> 大ホール <input type="checkbox"/> 楽屋1 <input type="checkbox"/> 楽屋2 <input type="checkbox"/> 楽屋3 <input type="checkbox"/> リハーサル室 <input type="checkbox"/> 音楽スタジオA <input type="checkbox"/> 音楽スタジオB <input type="checkbox"/> 市民展示ホール <input type="checkbox"/> その他 ()	
出演者・出演団体	※出演者・出演団体多数のため収まらない場合→別途一覧をご提出ください。	
主催者		
主催者所在地		
主催者連絡先	(電話番号)	(メールアドレス)
収容率 (上限) いずれかを選択	大声なしで開催	
	<input type="checkbox"/> 利用施設に定員がある場合 施設定員の100%	<input type="checkbox"/> 利用施設に定員が無い場合 人と人が触れ合わない程度の間隔
	大声ありで開催	
	<input type="checkbox"/> 利用施設に定員がある場合 施設定員の50%	<input type="checkbox"/> 利用施設に定員が無い場合 十分な人と人との間隔(最低1m)
	「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催	
	<input type="checkbox"/> 利用施設に定員がある場合 大声なしのエリア：エリア毎の定員の100% 大声ありのエリア：エリア毎の定員の50% ※収容定員は各エリア合算の人数となります	<input type="checkbox"/> 利用施設に定員が無い場合 大声なしのエリア： 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア： 十分な人と人との間隔(最低1m)
今回の収容定員 (上限)	人	※上記で選択された収容率等からご算定下さい。 また、エリアを区分して開催する場合はその区分ごとの人数を記載して下さい。
参加人数(予定)	人	

【STEP2】 基本的な感染防止	イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。	
※チェックがつかない場合は、STEP3で事由をご記入ください。		チェック欄☐
マスク常時着用の奨励	適切なマスクの正しい着用状況が確認でき、着用していない場合は個別に注意等を行うこと。	☐
大声を出さないことの奨励	大声を出す者がいた場合等は、個別に注意等を行う。 上記対応が可能な体制を整備(人員を配置する等)すること。	☐
手洗・手指消毒の励行	こまめな手洗いを奨励すること。また、手指消毒用の適切な手指消毒液を設置し、消毒を励行する。なお、消毒液については主催者で用意すること。	☐
消毒の励行	施設内(客席、出入口、トイレ等、ウイルスが付着した可能性のある共用部)をこまめに消毒する。	☐
換気・保湿	法令等を遵守した空調設備の設置、こまめな換気を行う。 ・1時間に2回以上、1回に5分間以上 ・室温が下がらない範囲で常時窓開け 等	☑
	乾燥する場面では、湿度40%を目安に加湿する。	☑
密集の回避	時間差入退場等により、入退場時の密集を回避する。	☐
	人員の配置、導線の確保等の体制を構築し、休憩時間や待合場所での密集も回避する。	☐
	入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じ収容人数を制限する。	☐
身体的距離の確保	大声を伴う可能性のある催物では前後左右の座席との身体的距離の確保する。(座席間は1席(座席がない場合は最低1m)空ける)	☐
	「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、それぞれのエリアを明確に区分し、エリア毎に必要な感染対策が確実に実施できる運用及び体制が整備されている。	☐
	演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保する。	☐
	入退場時及び販売での接客の際、接触することは避け距離を取って行うこと。また足型マークの設置、誘導員の配置等により、混雑時でも密にならない程度の間隔(最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔)を確保する。	☐
飲食の制限	飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限する。	☐
	休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止を徹底する。	☐

参加者の制限	<p>入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止する。 ※発熱者・有症状者の入場は断る等のルールを開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要</p>	□
参加者の把握	<p>可能な限り事前予約制とし、あるいは入場時に連絡先を把握する。 個人情報に留意し、一定期間保存すること。</p>	□
	<p>接触確認アプリ(COCoA)を奨励する。 ・アプリのQRコードを入口に掲示すること、等による具体的な促進措置を導入する。 ・携帯電話の利用を控える場面では、アプリの機能を維持するため「電源及びBluetoothをONにした上でマナーモード」にすることを推奨する。</p>	□
演者の行動管理	<p>有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演を控える。</p>	□
	<p>演者と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがある催物については開催を見合わせる。公演中の花束やプレゼントの受け渡しは控える。</p>	□
	<p>練習時等、催物開催前も含め、声を発出する演者間での感染リスクに対処する。 ・演者間の適切な距離確保、換気等の対策実施</p>	□
催物前後の行動管理	<p>イベント前後の感染防止の注意喚起を行う。 ・直行、直帰の呼びかけ ・「5つの場面」の注意喚起 ・業種別ガイドライン遵守店舗の利用呼びかけ等</p>	□
	<p>交通機関・飲食店の分散利用の注意喚起を行う。 ・セカンドアクセスの呼びかけ、交通機関との連携による混雑回避の検討 ・規模に応じた規制入退場の実施(開演時間の前倒し、規制退場等)の検討 ・可能な限り、予約システム、デジタル技術等の活用により分散利用を促進等</p>	□
ガイドライン遵守の旨の公表	<p>主催者及び施設管理者が、業種別ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表する。</p>	□

<p>【STEP3】 チェック項目を満たさない 場合</p>	<p>STEP2の各チェック項目を満たさない場合には、下記に、当該項目を満たさなくても感染防止対策上、問題がないと考えられる事由をご記入ください。 例)屋外のため、換気は不要と考える。</p>
<p>チェック項目を満たさない場合でも、感染防止対策上、問題がないと考える事由</p>	

以上の事項をイベント関係者全員に周知願います。

確認書により対応が不十分と判断された場合、利用の変更もしくは取消をお願いさせていただきます。